

は、今後の建設戸数などを考慮して、民間所有地を町が購入するよう関係議案の提案と、併せて購入予定地の測量設計を実施する所要の予算を計上させていただきます。

また、平成23年度から実施しております農業後継者の育成確保を目的とした奨学金制度については、引き続き実施してまいりますとともに、新規就農希望者に対する新たな支援制度を創設し、危機感を持って農業担い手の育成確保に積極的に努めていくため、本定例議会に支援制度の条例案と併せて所要の予算を計上させていただきます。

### ◆林業の振興

次に、林業振興、山づくりについてであります。

私は、「山づくりがまちづくり、人づくり」と常々申し上げてまいりました。本町は、農業と同様に森林産業の発展とともに栄えてきた歴史があります。

本町の総面積の約90%を占めるこの森林との共生、森林資源の有効活用は、昨今の国際的な環境問題を受けて、地球規模で再び資源として見直される時期を迎えています。このことは、森林資源の再生に努めてきた本町の「山づくりがまちづくり」

において、追い風となり、今後の町政発展の大きな活力になるものと確信しております。

これまで私は、町有林の積極的な整備とともに、民有林の除間伐や下刈事業、林道整備に対する助成をはじめ、民有林の流動化を促進する林地取得のための借入金利子に対する助成など、森林資源の再生に大きく力を注いでまいりました。

さらには、林業労働者の減少や高齢化に対しても、森林作業の技術者養成を図るべく森林整備担い手対策推進事業に取り組みでまいりました。

これらの森林整備事業は、本年度から始まる成熟期を迎えた町有林の伐採事業や造林事業と併せまして、効果的に推進してまいりますとともに、林業事業者の経営や森林作業員の生活を守るためにも、毎年の事業量をしっかりと確保しながら、森林資源の再生に努めてまいります。

本町の人工林は、本格的な利用の段階に入りつつありますが、一方で長引く木材価格の低迷から森林所有者の森林経営意欲の減退を招き、森林整備放棄地の増加が懸念されますので、未然に防止するためにも経営意欲のある所有者への流動化、さらには町財政に配慮しながら公有林化などへの対応をしてまいります。

町内での消費振興対策では、長期の視点に立った「ポイントカード事業」や町民皆様の生活支援も目的とした「プレミアム商品券事業」の実施に当たりまして、財政支援に努めてまいります。

特に、プレミアム商品券事業につきましては、これまでの支援実施の検証を行い、議会の意見もいたいただく中で、商工会と連携を図りながら取り進めるとともに、さらには低所得者に配慮した取り組み事業も併せて検討し実施してまいります。

また、昨年12月から社会福祉協議会に委託して実施しております、金山地区の住民を対象にしたモデル事業の買い物サービス支援事業については、今後、事業の検証を得て、他地区での事業化についても検討してまいります。

このような商工業の各種振興対策については、引き続き、効果を検証し、商工会と連携しながら制度や事業のより一層の充実に努め、商工業者の皆様と危機感を共有して、ともに本町の商工業の振興対策に努めてまいります。

昨年の道東自動車道占冠・夕張間の開通に伴い、道東、道央方面、さらには道外からの富良野市・旭川圏域及び道北地域の観光地等を訪れる

また、森林伐採による野生生物・イトウへの影響や水源としての森林機能の維持、森林作業員の育成確保など、それぞれの課題に対しまして、確かな取り組みが必要であります。

これらの課題に対処するため、「南富良野町森林・林業マスタープラン」を策定いたしましたので、今後は、マスタープランに基づき課題の解決に向けて着実に実行してまいります。

特に森林作業員の確保については、喫緊の課題でありますので、新規雇用を促進するための支援制度創設に向け検討してまいります。

また、林業における路網整備につきましては、効果的な生産性の向上により低コストで林業経営を行うための基盤となる生産施設でありますので、町有林・民有林内の路網密度向上のための林業専用道の開設に向けた所要の予算を計上いたしました。

独立行政法人森林総合研究所との分取造林契約地・伊勢団地地区につきましては、平成23年度から計画的な列状による試行主伐を行っておりますが、継続した森林整備を行うため、引き続き分取契約地として主伐跡地への再造林事業として所要の予算を計上いたしました。

また、森林組合による造林事業から発生する林地残材を使用した木質

鉱業の振興については、旧東鹿越郵便局跡地前の交差点が輸送車両の大型化に伴い、交通安全上支障を来している現状でありますので、拡幅改修工事の実施に向けた調査設計のための所要の予算を計上いたしました。

### ◆地域づくりと観光事業の再生

次に、観光と地域資源を活用した地域づくりと観光事業の再生についてであります。

本町の観光に対する取り組みは、富良野美瑛広域観光推進協議会に参加するなかで、NPO法人南富良野まちづくり観光協会と連携を図り、かなやま湖を中心とした景勝地や観光スポットのPRに取り組み、本町を訪れる観光客の増加に努めているところであります。

また、まちづくり観光協会では、地域の観光資源や景観体験メニューを活用し、ニューリズムとしての独自の観光スタイルを目指した取り組みが進められており、今後の本町の観光による地域づくりの重要な取り組みになるものと考えております。今後取り組みの観光体験メニューの企画立案、各会員との連携、会員の増強等その役割は極めて重要になってくることから、事務局体制の

バイオマスエネルギーの活用については、「環境保全・雇用創出・森林経営」の視点に立って、引き続き公共施設への導入について検討してまいります。

今後とも上川南部森林管理署や森林組合をはじめとする林業関係者と十分連携を図りながら森林環境の整備充実と森林資源の有効活用を図り、森林産業の活性化に努めてまいります。

### ◆商工鉱業の振興

次に、町内消費の活性化による商工鉱業の振興であります。

商工業を営む方にとりましては、目下の経済情勢の中で、厳しい経営環境を強いられていることから、私はこれまで、本町の商工業の振興、活性化を図るため、商工業者の皆様が組織する商工会からの要請に対し、協力連携の体制を強めながら、商工業を営む方の経営資金、設備投資資金の円滑化を図るための町融資制度及び利子、保証料に対する助成をはじめ、新たに事業を始める際に設備費用を助成する商工業振興アシスト事業、商工会組織の育成強化に対しましては、商工会運営費用への財政支援や事務局に町職員を派遣する人的支援など様々な支援に努めてまい

強化を図るための支援をしてまいります。

また、落合地区には、ラフティンGやアウトドア体験を提供する事業者が定着しており、地域の活性化の推進に一翼を担っていることから、今後は地域において対話を重ねる中で、積極的に地域づくりに参画していただき、協働体制による地域づくりを進めてまいります。さらに、同地区は空知川の源流域であり、上質な水資源があることから企業を巻き込みながらナチュラルウォーターの製品化を検討してまいります。

南富良野町振興公社は、平成3年に設立し、本年度創業21年を迎え、「雇用の創出、産業の振興、地域の活性化」を使命とする、本町の重要な公益的事業の担い手であります。引き続き、その使命を全うしていくことを、最大の目標といたしますが、現在、町議会において「株式会社南富良野町振興公社対策特別委員会」が設置され、公社運営の健全化に向けて集議を行っていただいております。

今後、特別委員会から出されます報告を踏まえまして、町として適切に対応してまいりますので、議員各位並びに町民皆様のご理解をいただき、設立者としての責任をしっかりと果たしてまいります。